

「 つながりから見えるアジアの姿と未来 」

1 趣 旨

グローバル化が口にされるようになってずいぶん経ち、国際的な地域間の結びつきや対立が私たちの生活に直接もたらす影響がますます大きくなっています。アジアの東縁にある日本は、アジアの中でどのようなつながりを育んでいくことになるのでしょうか。また、これまでの日本と他地域との関係の中で、あまり注目されてこなかったところにどんな経緯があり、可能性があるのでしょうか。

日本をめぐる東アジアの各地域の様子を各論的に見ていった後、そのような多様性を持つ東アジアの関係や将来をどのように展望できるか、発展的に見ていきます。すべて総論的な内容だと抽象的になりがちなので、具体的な地域を見ていった後に、総論に進んでいきたいと思えます。

2 曜日・時間

土 曜日 午後

4 講座コーディネーター

新潟大学 高橋 秀樹 副学長（国際、環東アジア構想担当）

5 プログラム

回	テーマ	内 容	講師
1	<各論1>ロシア 住生活からみたロシア人の暮らしとその経済	市場経済化によって生じたロシア人の住生活の変化を捉え、そこから新しい日露ビジネス・チャンスとその課題について展望します。	新潟大学 道上 真有
2	<各論2>ベトナム 生活者の視点でみる社会のあり方	本当の豊かさとは何でしょうか。私たちが「してあげる」対象としがちなベトナム（北部）を事例に考えます。	敬和学園大学 長坂 康代
3	<各論3>ラオス 戦争と復興－新潟との比較を中心に	かつてラオス内戦下で激しい空襲を経験したラオスの人々の戦災と復興について、新潟（長岡）の経験とも比較しながら考察します。	新潟国際情報大学 瀬戸 裕之
4	<各論4>カンボジア 進む対中傾斜と日本の役割	親日国カンボジアは近年、中国への依存を深めています。「民主化なき経済発展」が進む同国の現状と日本の役割について学びます。	新潟国際情報大学 山田 裕史
5	<各論5>インドネシア 高齢化するバリ社会	多民族国家インドネシアは全体として生産年齢人口の多い社会ですが、その中の一地方バリでは少子高齢化が問題になりつつあると考えられます。	新潟大学 中村 潔
6	<各論6>イスラーム諸国 イスラーム教徒の日常生活	アジアでは、各地域、各国で多くのイスラーム教徒が活躍しており、新潟でもイスラーム教徒の方々と接する機会が少なくありません。コーランやムハンマドの言行に基づくイスラーム教徒の日常生活について、食事や服装などを中心にお話しさせていただきます。	新潟大学 青柳 かおる
7	<各論7>新潟 東アジア世界の中での日本の起こり～新潟の弥生時代を中心に	新潟県域における弥生時代遺跡・遺物の考古学的検討を通じて、東アジア世界とのつながり・交流の具体像について考えます。	新潟大学 森 貴教
8	<総論1>東アジアの経済 ビジネスのグローバル化で求められる人財像	グローバル化されたビジネスに必要な行動、意識、能力要件を異文化環境の新潟南魚沼の国際大学での視点をヒントに考えていきます。	国際大学 横瀬 勉
9	<総論2>東アジアの流動性 「人的・文化的交流」の現状と課題	講座では、東アジア地域間で起きる相互不信感の要因を探り、未来志向の日中・日韓関係を「人的・文化的交流」を通して考察します。	新潟県立大学 権 寧俊
10	<総論3>東アジアの安全保障 「ポスト冷戦」後の安全保障を考える	米中両国の緊張関係、朝鮮半島情勢、テロの脅威など、日本の安全保障政策の変化を通して今後の国際情勢をどう観ていくかを考えていきます。	国際大学 山口 昇